令和5年度社会福祉法人羽陽の里事業報告

1　施設運営の総括事項の概要

（１） 運営全般

　　　令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症について感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたことを契機に、これまでのコロナ禍での運営上の対応や諸制限について見直しを図った。

具体的には、施設内部での新型コロナウイルス感染症の感染防止対策は継続しながらも、面会については、事前連絡・少人数・短時間の対応は継続した上で、入居者の居室での面会を再開し、ご家族からも好評を得ている。

また、外部の方との交流や第三者の視点を運営に活かす観点から、苦情対応委員会の第三者委員や天童市介護サービス相談員の巡回相談の受入、演奏や歌等のボランティアの受入も再開した。各ユニットでは、ドライブや運動・ゲーム等レクレーションの実施、菓子や作りなども含めユニット活動の充実や拡充に努めた。

新型コロナウイルス感染については、今年度は2月初旬から中旬にかけて、利用者・職員合計4名の感染が確認され、施設内療養対策を講じた結果、幸いにも感染拡大には至らなかった。

特に感染防止や事故防止等を含めた対策に、今後も万全を期す必要がある。

ア　今年度も事業計画に沿った施設運営に努めた。各事業所では、季節行事や健康運動、ゲームやレクレーション活動、菓子づくり等多彩なユニット活動に取り組む一方、施設での生活面や健康面での情報を、生活便り、ユニット便り等でご家族へのタイムリーな情報提供に心がけた。

イ　諸会議や委員会・部会等の内部活動は計画的に開催するとともに、活動の充実に努めた。介護現場では、業務引継ぎやフロア会議を重視し、職員間の連絡調整を図るとともに情報の共有化に努めた。

ウ　職員の研修については、県や老施協の研修会の開催自体もまだ少ないが、必要な研修には積極的に参加するとともに、伝達研修も含め内部研修として全体又はユニット毎の研修も実施した。外部委員構成による運営推進会議は、年6回実施している。

（２） 事業経営面

ア　地域密着型特別養護老人ホームは、長期の入院者や看取りの方も多かったが、年間退所者数が9名、新規入居者が11名で、入退所のタイムラグも含め、年間の平均利用率は95.9％で前年度（93.4％）より改善されている。収入の対当初予算比は97.9％である。

　　イ　短期入所事業所は、年間利用率目標75％であったが、月毎にばらつきがあり最高78％、最小51％であり、この結果、年間平均利用率は65.8％であり前年度（70.7％）を下回っている。

ウ　小規模多機能型居宅介護事業所は、特養への入所等による退所もあるが、今年度の年間平均利用者数は23.3名であった。令和3年・4年度は年平均25名を超える実績があったため、収入面では厳しい状況となった。収入の対当初予算比は90.9％に留まっている。

　　エ　居宅介護支援事業所は、1.5人体制で実施していたが、特養職員の休業等に伴い職員配置を変更し、11月より従来の1名体制となり令和5年度の平均給付管理ケースは41.2名である。

　　オ　支出面では、特に修繕費と電気料が通常より大きな負担となったが、他の経費での節約効果もあるが、最終的には収入面で利用率の影響により当初予算に対し約1100万円の減収が経営上大きな影響を与えており、利用率向上が大きな課題である。

　2　利用状況及び運営に関する事項

（1）利用者の契約・登録状況（令和6年5月1日現在）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業所 | 利用者数・契約者数 | 平均年齢 | 平均要介護度 | 備　考 |
| **特　養** | 29名（男性 6名・女性23名） | 89.7歳 | 3.82 | 重度者比率約6割 |
| 概要：介護度3：11名、4：12名、5：6名　所得階層4段階12名、3②：3、3①：6、2：8 |
| **短　期** | 20名（男性 6名・女性14名） | 87.6歳 | 2.57 | 直近利用者20名のデーター |
| 概要：大半が天童市内の方、他、山形市、寒河江市、東根市在住の方など |
| **小規模** | 24名（男性 7名・女性17名） | 85.0歳 | 1.72 | 要支援者5名 |
| 概要：泊り1日6～7名、日中通所含め平均12～15名 |
| **居宅介護** | 33名（男性 9名・女性24名） | 85.6歳 | 2.15 | 契約者：天童24、山形9 |
| 概要：給付管理ケース30～33件 |

※特養：【寝たきり度】：準寝たきりｊ2.A1.A2：5人、寝たきりB1.B2：24人、重度の寝たきりC1.C2：0人

【認知症度】：自立0人、ほぼ自立Ⅰ2人、軽度 Ⅱ3人、重度 Ⅲ22人、頻度多 Ⅳ2人、重篤 Ｍ0

(2) 利用率等の状況　(令和5年4月～令和6年3月)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目等 | **特　養** | **短　期** | **小規模** | **居宅介護** |
| 延日数 | 利用率 | 延日数 | 利用率 | 利用者数 | 利用率 | 利用者数 | 利用率 |
|  4月 | 858 | 98.3 | 174 | 58.0 | 24 | 82.8 | 43 | 96.0 |
|  5月 | 863 | 95.9 | 244 | 78.7 | 23 | 79.3 | 49 | 98.0 |
|  6月 | 810 | 93.1 | 220 | 73.3 | 23 | 79.3 | 47 | 94.0 |
|  7月 | 886 | 98.5 | 216 | 70.3 | 23 | 79.3 | 46 | 92.0 |
|  8月 | 832 | 92.5 | 203 | 65.6 | 24 | 82.8 | 45 | 90.0 |
|  9月 | 809 | 92.9 | 206 | 68.6 | 23 | 79.3 | 45 | 90.0 |
| 10月 | 863 | 95.9 | 205 | 66.1 | 22 | 75.9 | 44 | 88.0 |
| 11月 | 849 | 97.5 | 175 | 58.3 | 23 | 79.3 | 36 | 102.8 |
| 12月 | 862 | 95.8 | 169 | 54.5 | 23 | 79.3 | 33 | 94.2 |
|  1月 | 885 | 98.4 | 160 | 51.6 | 23 | 79.3 | 34 | 97.1 |
|  2月 | 813 | 96.6 | 194 | 66.9 | 24 | 82.8 | 35 | 100.0 |
|  3月 | 857 | 95.3 | 240 | 77.4 | 24 | 82.8 | 32 | 91.4 |
| **年間平均** | **848** | **95.9** | **200** | **65.8** | **23.3** | **80.2** | **41.2** | **94.4** |

　※小規模は29名で100％、居宅は4月～10月まで50件で除し、11月以降は35件で除する計算

(3)　年間新規利用者及び退所者数　(令和4年4月～令和5年3月)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別・入退所 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | **計** |
| **特　養** | 新規 | 2 |  |  | 2 |  | 1 | 2 |  | 1 | 1 |  | 2 | **11** |
| 退所 |  | 2 |  | 1 | 1 | 1 |  | 1 | 1 |  | 2 |  | **9** |
| **小規模** | 新規 |  | 1 |  |  | 1 | 1 | 1 |  |  | 1 |  |  | **5** |
| 退所 |  | 1 | 1 |  |  | 3 | 1 |  |  |  |  |  | **6** |

※特養のR5年度は新規入居者11名、退所者は9名であった。（R4：入居12、退所14、R3：入居12、退所12、R2：入居13、退所12、R元：入居5、退所6　）

　新規入居者11名（在宅から7名（当施設小規模利用及び短期利用者含む）、病院等4名）

※小規模の新規利用者5名、退所者6名（退所内訳：特養3名、入院2名、他事業所1名）Ｒ4：新規7名、退所8名（内訳：特養4名、入院4名）、（R3：新規13名、退所8名（内訳：特養6名、入院2名）

R2：新規9名、退所7名（内訳：特養3名、入院4名）、R元：新規12名、退所11名

3 監査関係・理事会及び実地指導等の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名　 称 | 期　 日 | 主な内容 |
| 監 事 監 査 | R5年 5月29日 | 令和4年度事業報告及び決算に係る監査 |
| 第1回理事会 | 　 6月 7日 | 事業報告及び決算の承認、役員推薦、評議員会の議案等 |
| 定時評議員会 |  　 6月27日 | 決算の承認、役員の選任 |
| 第2回理事会 |  　6月27日 | 理事長の選定 |
| 第3回理事会 | 　 12月22日 | 補正予算、借入限度額設定 |
| 第4回理事会 | R6年 3月20日 | 補正予算、令和6年度事業計画及び当初予算等 |
| その他重要事項等 |
| 1. 運営推進会議
 | 年6回計画通り開催（内容：運営状況、事故・ヒヤリハット報告、感染症対策、意見交換等） |
| 1. 設備等点検
 | 2/21天童市消防署による消防設備、環境等の点検及び指導 |
| 1. 職員体制等
 | 採　用 | 4/1臨時看護師、5/1介護員、9/1介護員、11/1臨時事務員、1/1臨時看護師正職登用、ﾊﾟｰﾄ介護員週20ｈを30ｈ雇用延長 |
| 退　職 | 10/31介護員、12/31作業療法士，介護員、1/31ﾊﾟｰﾄ介護補助員3/31ﾊﾟｰﾄ介護補助員2名（1名業務委託で継続、1名定年）3/31介護員 |
| 1. 主な行事等
 | 観桜会4/11、4月より「こっちゃ来い」継続実施、実習生6月～8月、市初任者研修へ講師派遣6日間延10名、ﾓﾝﾃﾃﾞｨｵ山形応援交流会9/27、入居者健康診断9/28長寿を祝う会9/9、防災訓練・講習等5/26・9/10・9/22・11/12・3/13、文化祭11/5天童ロータリークラブよりリハビリ・レクレーション等の用具寄贈受ける12/10 |

4　利用者の医療・看護、食事・口腔ケア等の状況

1. 嘱託医による毎月第1・3水曜日の定期診断を行うとともに、入居者については9/28に健康診

断を実施した。看護師のオンコール回数は37回（R 4：90回、R3：112回、R2：72回、R1：66回、

H30：34回）で、この内14回（R 4：42回、R3：67回、R2：26回、R1：51回、H30：16回）は

夜間等に実際に出勤し対応を行っている。救急車の要請回数は1件である。（R 4：3件、R3：5件）

(2) 特養入居者の入院者は延べ9人、入院日数は延べ130日である。（R 4：入院11人、日数383日、R3：入院17人、日数467日、R2：入院36人、日数703日、R1：入院24人、日数347日）

(3) 利用者・入居者の心身状況に応じた栄養管理に努めるとともに、各種行事食や希望献立、季

節に応じた食事サービスの提供に心がけた。今年度は特にご家族に対し献立の実際をカラー写

真で定期的に広報した。また、歯科衛生士による指導も含め入居者の口腔ケアの充実に努めた。

5　事故報告・ヒヤリハット関係

　◇全体の件数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業所年度別 | ヒヤリハット件数 | 事 故 件 数 |
| R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | 増減 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | 増減 |
| 特　養 | 92 | 69 | 55 | 48 | 71 | +23 | 6 | 6 | 7 | 4 | 10 | +6 |
| 短　期 | 40 | 29 | 24 | 35 | 32 | －3 | 5 | 8 | 3 | 3 | 6 | +3 |
| 小規模 | 25 | 21 | 25 | 37 | 17 | －20 | 4 | 5 | 7 | 5 | 10 | +5 |
| 合　計 | 157 | 119 | 104 | 120 | 120 | ±0 | 15 | 19 | 17 | 12 | 26 | +14 |

1. 事故件数は、全体で前年度より14件増という大変高い件数であった。その内訳は半数以上

が服薬関係(16件)であり、他転倒(8件)による事故である。服薬に関しては、職場内研修を実施し、

服薬事故や服薬マニュアル等に関し再度職員間で注意喚起を行っている。

転倒事故は8件（特養3件、小規模5件）で、自立歩行できる方が多く、見守りの際の職員配置や職員同士の声かけ、利用者の行動予測等に関する話合いも含め再発防止に繋げていきたい。

1. ヒヤリハット報告件数は、特養が大きく増加し、逆に小規模が大きく減少している。前年度件数

として多かった転倒・転落は34件（20件減）と減少し、内出血は30件（15件増）と増加した。

入居者の身体・精神状況等の低下に伴い発生しているケースも多く、今後も各入居者の行動予測や身体、精神状況に応じた環境設定に努めていく必要がある。